

<研究名称>

胆道閉塞に対する細径金属ステントによる超音波内視鏡下胆道ドレナージ：多施設共同前向き観察研究

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者	所 属	消化器内科
	職 名	部長
	氏 名	藤井常志
実施担当者	所 属	消化器内科
	職 名	部長
	氏 名	阿部真美
実施担当者	所 属	消化器内科
	職 名	副部長
	氏 名	石川千里
	氏 名	杉山祥晃
実施担当者	所 属	消化器内科
	職 名	医師
	氏 名	桃井環
	氏 名	相馬学
	氏 名	斉藤敦

<研究期間>

倫理委員会承認日 ～ 2025年12月31日（最長5年まで）

<診療・研究の目的>

超音波内視鏡下胆道ドレナージにて、用いられるステントには様々な種類があるが、臨床成績の優劣については明らかではない。本研究は、普段我々が使用している胆管ステントを用いた場合の当院における治療成績を出し、既報の報告と比較検討する事が目的である。

<実施内容（方法）>

非侵襲，非介入による単群，多施設共同前向き探索的観察研究である。以下の手順で研究を行う。

- (1) 適格性の確認
- (2) 同意の取得
- (3) 登録
- (4) 超音波内視鏡下胆道ドレナージ
- (5) 治療後経過観察

<危険性（副作用）等>

(1) 予想される利益（効果）

本研究へ参加することにより対象者に直接の利益は生じないが、研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性がある。

(2) 予想される不利益

本研究では日常診療において情報の提供を受ける研究（前向き観察研究）である。そのため、研究対象者には特に不利益は発生しないと考えられる。

<倫理上問題になると考えられる事項>

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ
〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院

消化器内科 藤井常志

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648